

様式第1号(乙) (第2条関係)

収 支 報 告 書

令和6年 4月 16日

堺市議会議長 的場 慎一 様

議員氏名 上野 充司

堺市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項の規定により、令和 5年度
政務活動費について次のとおり報告します。

収 入

(単位 円)

収入の種類	決算額	算出基礎等
1 政務活動費 2 その他	2,970,000	@270000円 × 11ヶ月 = 2,970,000 円
収入合計	2,970,000	

支 出

使 途 項 目	決 算 額	左のうち政務活動費充当額	備 考
調 査 研 究 費	145,050	145,050	
研 修 費			
要 請 ・ 陳 情 活 動 費			
会 議 費			
資 料 作 成 費			
資 料 購 入 費			
広 報 ・ 広 聴 費	485,548	485,548	
人 件 費			
事 務 ・ 事 務 所 費			
支 出 合 計	630,598	630,598	

令和5年度 事業実施報告書

会派の名称・議員氏名 大阪維新の会堺市議会議員団 上野 充司

主な事業・行事名	期 日	内 容 の 説 明
【調査研究費】 福岡市・佐賀県への視察	10月	DXによる広報戦略・窓口業務の効率化、DXによる産業振興・イノベーションの先進事例の視察。
静岡市歴史博物館・豊川市公園への視察	10月	建て替えられて間もない博物館、インクルーシブ公園の先進事例の視察。
JAMP（時事行財政情報モニタ）の契約	6、9、12、3月	政務活動の情報収集のため、（株）時事通信社発行のJAMPを契約。
【広報・広聴費】 議会レポートの発行・配布	10、1月	議会活動を市民へ広報するため、議会レポートを各議会終了後、計2回配布。発行部数は70,500部で、配布方法は折込み・ポストイング・駅頭での手配り。

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
5.5.1				0	前月繰越		
月計		0	0				
累計		0	0	0			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
				0	前月繰越		
5.6.9		540,000		540,000	政務活動費5月・6月分受入		
5.6.12	6-1		16,500	523,500	JAMP(時事行財政情報モニタ)	①	
月計		540,000	16,500				
累計		540,000	16,500	523,500			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				523,500	前月繰越		
5.7.10		810,000		1,333,500	政務活動費7月・8月・9月分受入		
月計		810,000	0				
累計		1,350,000	16,500	1,333,500			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
5.8.1				1,333,500	前月繰越		
月計		0	0				
累計		1,350,000	16,500	1,333,500			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その他
				1,333,500	前月繰越		
5.9.11	9-1		16,500	1,317,000	JAMP(時事行財政情報モニタ)	①	
月計		0	16,500				
累計		1,350,000	33,000	1,317,000			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の用途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				1,317,000	前月繰越		
5.10.10		810,000		2,127,000	政務活動費10月・11月・12月分受入		
5.10.10	10-1		30,660	2,096,340	福岡・佐賀視察 新大阪⇄博多 往復乗車券、特急券（指定席）	①	
5.10.12	10-2		420	2,095,920	福岡・佐賀視察 博多⇄天神南（七隈線）往復	①	
5.10.12	10-3		5,720	2,090,200	福岡・佐賀視察 博多⇄佐賀 往復乗車券、特急券（指定席）	①	
5.10.12	10-4		11,100	2,079,100	福岡・佐賀視察 宿泊（博多グリーンホテル）	①	
5.10.13	10-5		510	2,078,590	福岡・佐賀視察 タクシー代（産業スマート化センター→佐賀駅）	①	
5.10.30	10-6		21,380	2,057,210	静岡・豊川視察 新大阪→静岡→豊橋、豊橋→新大阪 乗車券、特急券（指定席）	①	
5.10.31	10-7		660	2,056,550	静岡・豊川視察 タクシー代（静岡駅→博物館）	①	
5.10.31	10-8		800	2,055,750	静岡・豊川視察 タクシー代（博物館→静岡駅）	①	
5.10.31	10-9		7,800	2,047,950	静岡・豊川視察 宿泊（ジャストインプレミアム）	①	
月計		810,000	79,050				
累計		2,160,000	112,050	2,047,950			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
5.11.1				2,047,950	前月繰越		
月計		0	0				
累計		2,160,000	112,050	2,047,950			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の用途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				2,047,950	前月繰越		
5.12.11	12-1		16,500	2,031,450	JAMP(時事行財政情報モニタ)	①	
5.12.14	12-2		247,033	1,784,417	市政報告 作成料36,500枚 折込み料 36,500枚、振込手数料	⑦	
月計		0	263,533				
累計		2,160,000	375,583	1,784,417			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）

2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				1,784,417	前月繰越		
6.1.10		810,000		2,594,417	政務活動費1月・2月・3月分受入		
月計		810,000	0				
累計		2,970,000	375,583	2,594,417			

備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				2,594,417	前月繰越		
6.2.29	2-1		238,515	2,355,902	市政報告 作成料34,000枚 折込み料 34,000枚、振込手数料	⑦	
月計		0	238,515				
累計		2,970,000	614,098	2,355,902			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費○期分受入れ、○月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

会 計 帳 簿

会派の名称・議員氏名 上野 充司

年月日	整理 番号	収入額	支出額	残額	内容	項目	その 他
				2,355,902	前月繰越		
6.3.11	3-1		16,500	2,339,402	JAMP(時事行財政情報モニタ)	①	
月計		0	16,500				
累計		2,970,000	630,598	2,339,402			

- 備考 1 「内容」欄には、収入又は支出の内容を記載する。（政務活動費〇期分受入れ、〇月分事務所賃借料など）
- 2 「項目」欄には、堺市議会政務活動費の交付に関する条例別表に規定されている政務活動費の使途項目を記載する。（次の番号の記載でも可）（①調査研究費、②研修費、③要請・陳情活動費、④会議費、⑤資料作成費、⑥資料購入費、⑦広報・広聴費、⑧人件費、⑨事務・事務所費）

出張報告書

令和5年11月1日

会派の名称・議員氏名 大阪維新の会堺市議会議員団・上野充司

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的
- ①福岡市のDX取り組みと広報戦略を調査し、本市のそれへの活用を検討する。
 - ②佐賀県のDX産業イノベーションやスタートアップ支援を調査し、本市のそれへの活用を検討する。

2. 期間 令和5年10月12日(木)～令和5年10月13日(金)

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先(都市・施設名等)
①	10月12日(木)	13:30～15:30	福岡市役所
②	10月13日(金)	9:45～11:15	佐賀県産業スマート化センター

4. 面談者

・福岡市役所

総務企画局DX戦略部データ活用推進課 課長 [REDACTED] 係長 [REDACTED]

DX戦略課戦略係長 [REDACTED]

市長室 広報戦略室広報戦略課 課長 [REDACTED] 企画係長 [REDACTED]

広報課 課長 [REDACTED] 広報第3係長 [REDACTED]

こども未来局こども政策部こども政策課こども政策課長 [REDACTED]

企画係長 [REDACTED]

・佐賀県産業労働部産業DX・スタートアップ 総括監 [REDACTED]

産業DX・スタートアップ推進グループ副課長 [REDACTED]

佐賀県産業スマート化センター センター長 [REDACTED]

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

【行政視察の実施に当たって～堺市の現状認識～】

コロナ禍の影響もあり、ICTの活用が一足飛びに進展したとも言われる状況があり、本市においても市民サービスの多くのDX化を進めて、広報誌の改善やSNSの活用を推進してきた。しかしながら、DX化においては部分採用やデジタル化に留まっているものもあれば、SNSの登録者数・活用の余地はまだある。また、イノベーション支援・スタートアップ支援も行っているが、動きが早い市場においては、支援のスピード感が遅いように思われ、ましてや先んじるようなサポートを実行する取り組みの構築には不十分と感じざるを得ない。については、福岡市のDX化、広報戦略、佐賀県の産業振興支援を調査したい。

【福岡市役所の視察】

1. 福岡市のDXの取組について

背景：人口減少社会、新型コロナウイルス感染症

→「ノンストップ行政」、UIの改善により市民目線のDX、人的資源は「人のぬくもりが必要な分野へ」

R2.11 DX戦略課を創設。官民連携のプロジェクトチーム：民間の「DXデザイナー」

・行政手続きのオンライン化：「スマート申請」により来庁不要。

年間総処理件数 940 万件/1,020 万件（90%以上）をオンライン化実現し、各担当課で期限を設けて実行率上昇を図る。

住民票、税務証明書、水道の開始・中止、就学援助の継続申請 等々
高齢者向けパソコン教室。高齢者乗車券のオンライン申請約 3.2 倍

・リモート窓口

公民館に設置、モニター越しに職員と話せる。高齢者施設・介護保険等々の相談。

・RPAの活用推進

RPA・AI-OCRの本格導入により年間 13,270 時間の自動化。

・アナログ規制の見直し

国に先行して条例・規則・要綱等の点検を開始。

・データを活用したプッシュ型行政への取り組み

申請主義→プッシュ型へ 福岡市公式ポータルサイトで様々サービスを提供。

・予算規模（R5年度）

ノンストップ行政：約 1 億 7 千万円 RPA：2,700 万円 ポータルサイト：約 8,000 万円

2. 福岡市広報戦略室について

福岡市広報戦略室公式 SNS（X、FB、インスタ、LINE）をそれぞれの特性に応じて活用。

YouTube「福岡チャンネル」では、市長定例会見や市長の動き、市の魅力を発信。

SNSへのアクセスは、県内 50%、県外 50%（地域では首都圏 23%、関西 7%）

LINEでは、市民への通知、市民からの通報・依頼として活用。登録者数 185 万人。

LINE 本社が福岡市にあり、平成 24 年に自治体で初めての公式アカウントに取り組む。

福岡市のラインスタンプを無料キャンペーンにより登録が一気に増加。
市の広報誌は2回/月。市政情報の収集は90%広報誌。HPは50%。
市の広報に対する満足度は79.6%。
広報政略室を記者クラブの隣に設け情報交換（記者が期待する情報等）が密である。

【佐賀県産業スマート化センターの視察】

1. 佐賀県産業スマート化センターの概要

（開設の経緯）

- ・2013年頃からIT産業振興に着手するも、IT企業と非IT企業の落差が顕在化。後者のデジタル利活用の推進に着手。
- ・“そのモヤモヤを、明日のワクワクに。”
- ・DXとスタートアップをテーマにイノベーションにチャレンジできる地域へ
- ・KPI（デジタル技術の導入数や受講者数、資金調達件数）を設定。
- ・県外でもアワード受賞多数。交流会等のイベント参加者が激増。視察受け入れも多い。
- ・全国初のDX推進ハブを核とした産業DXへの取組、スマート化センターは2018開設。
- ・個別指導を軸としたスタートアップ支援。スタッフは約10名。
- ・11本のアウトソース案件に21企業が参画。敢えて事業ごとに分けてスピード感UP、共創と競争を喚起。←行政はこのような事業を纏めて発注しがち。

（事業内容）

- ・県内企業のDX推進。人材育成。マッチング。
- ・サポーティングカンパニー制度。参加企業316社、約4.7社/月増加。コロナで相談増加。
- ・相談があれば、約一カ月マッチング等へと進めている。
- ・事例コラムを発信。現実感のある取組が伝わる。
- ・FacebookLIVEでのトークセッション。バーチャルショールーム。
- ・コミュニティ支援（プログラミング技術習得、ITを活用したビジネスの高度化）。

（意見交換）

- ・予算は大枠で設定し細分化せず融通が利くように設定。
- ・福岡市をはじめとする大都市ほど多くに人がいるわけではないので、否が応でも異業種の方と接する機会があり、組んで取り組む。→イノベーションに繋がるのでは。
- ・解決すべき問題点を現場直接で見られる。（都心部のオフィスでは分からない。）
- ・外郭団体を設定するとマンネリ化を招きやすいが、民間のJVがワンチームとなり、毎年コンペを実施し、スピード感・緊張感を維持している。
- ・福岡では枠が広すぎるので佐賀に来ると考える人も。移住者もいる。
- ・DX推進の押し売りでは門前払いされることもあるので、調査に協力してもらう体できっかけを作っている。製造業には、今まで感覚的に進めているところにエビデンスを作る取り組み。

【行政視察を終えて】

福岡市のDXの取組では、アプリやポータルサイトの入り口、来庁が全く不要であるという出口まで、一気通貫で総合的に取り組んでいることが分かった。また、サイトのデザインやDX化で取り残される言われがちな高齢者へのサポートまできめ細かく行き渡っており、さらにはRPAにより行政内部の改善に取り組んでいる。また、広報においても福岡のブランド力を活かし、消費者が耳目に触れる機会を戦略的に増やしている。福岡市の規模だからできることといえばそれまでだが、本市でも細部に目を向けDX化の底上げを図ること、市民サービスの総合的な向上に提言していきたい。

佐賀県では、DXを切り口に地方であるからこその特化した取組みを知ることができた。行政の施策では、全方位的・総花的になりがちで結果、成果が小さくなる、見受けられなくなりがちなところを割り切ってやるべきでないことには手を出さず、都会で成功体験や意見を丸飲みしないという方針により成果が出ているとのこと。市民全体の声を耳傾け、お応えするのも重要であるが、イノベーションやスタートアップということでは何か一点突破が必要なこともあることを実感した。



佐賀県産業スマート化センター内

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

10-1、10-2、10-3、10-4、10-5

出張報告書

令和5年11月10日

会派の名称・議員氏名 大阪維新の会堺市議会議員団・上野充司

出張報告は下記のとおりです。

記

1. 目的
- ① 静岡市歴史博物館の開設・運営を学び、本市の博物館運営や建替え検討について考察する。
 - ② 豊川市豊川公園（インクルーシブ公園）の取り組みを学び、本市への活用を検討する。

2. 期間 令和5年10月31日（火）～ 令和5年11月1日（水）

3. 日程等

	月 日	時 刻	出張先（都市・施設名等）
①	10月31日（火）	14:00～16:00	静岡市歴史博物館
②	11月1日（水）	10:00～12:00	豊川市役所

4. 面談者

- ・ 静岡市観光交流文化局歴史文化課歴史文化推進係 課長補佐兼係長 [REDACTED]
主任主事 [REDACTED]
- 静岡市歴史博物館 副館長 [REDACTED] 企画経営課課長 [REDACTED] 学芸課課長 [REDACTED]
- ・ 豊川市都市整備部公園緑地課課長 [REDACTED] 課長補佐 [REDACTED]

5. 報告内容【調査内容や成果等について、具体的に記載すること】

【行政視察の実施に当たって～堺市の現状認識～】

堺市博物館は老朽化が進み、収蔵場所も不足している。百舌鳥古市古墳群の世界登録を受けて、展示場所の全面的なリニューアルや類まれなる歴史を活かした展示イベントの工夫は凝らしているが、誘客を打ち出す施設としては、建て替えも視野に入れた検討を進めるべきであると考え。また、本市でも近年、各公園の立地や周辺ニーズに合わせた整備を進め、家族・親子連れ、スポーツやイベントを楽しむ場所として活用されてきている。今後も公園整備が予定されている状況で、さらに多様なニーズに応えることができる整備を検討するべきと考えている。

【静岡市歴史博物館の視察】

1. 静岡市歴史博物館開設・運営について

建設経緯

- ・旧静岡市（合併前）で昭和50年代から検討開始。
- ・平成22年度：基本構想策定
- ・平成26～27年度：さきがけ博物館事業を試行
- ・平成27年度：基本計画策定
- ・平成29～令和元年度：設計、令和2～4年度：建設工事
- ・令和4.7.23プレオープン、令和5.1.13グランドオープン

基本理念

歴史文化から静岡の未来をつくる。

～静岡の過去を学び、今を知る。そして、未来を考える。～

役割

- ・歴史探求 ・地域学習 ・観光交流

運営

- ・指定管理者：公益財団法人静岡市文化振興財団 職員19名（うち学芸員8名）

建設と設計のコンセプト

- ・複数コンペの上、SANAA事務所（金沢21世紀美術館、ルーブル＝ランスを設計）が担当。
- ・中心市街地の立地を活かし、回遊性を高める建築。
- ・1階部分は、建設予定地で発見された戦国末期の道と石垣の遺構を活かし無料公開。
- ・徳川家康を中心に今川氏・駿府城下町・東海道・静岡藩等々の調査研究を行っている。

その他

- ・駿府城跡の横に位置し、元は小学校があった。

- ・建設費：約63億円

当初予算の内訳：国土交通省都市再生整備関連の補助金15.9億円、市債約31億円、一般財源約12億円

- ・指定管理料：令和4～8年度の5年間で、3.5億円/年。

- ・予算上の採算は、市負担 75%、受益者負担 25%の 8 千万円を見込んでいるが、まだ 1 年たっておらず、オープン年度でイベントを打っているので採算が見えるのはもう少し先である。
- ・販売店からミュージアム使用料を徴収。
- ・イベント参加者は 8～9 割が市内。
- ・館の収蔵点数は約 4 万点、約 13 点を展示。4 カ月ごとに 80 点くらいが入換え。
- ・ガイドツアーは NPO 法人の市民観光ボランティア。
- ・デザイン、建物だけでも見に来る方もいる。
- ・建設に対して、議会は概ね前向きであった。

【豊川公園（インクルーシブ公園）の視察】

1. 豊川公園（インクルーシブ公園）の概要

（開設の経緯）

- ・都市公園の設置基準（豊川市 $13.04 \text{ m}^2/\text{人} \geq 10 \text{ m}^2/\text{人}$ ）は超えていた。
- ・経済成長期の量的整備優先から都市・地域・市民のための多様なニーズに応える。
- ・公園管理者も資産運用を考える時代へ！（公園・スポーツ施設の施設・機能再編）
- ・民がつくる、明に任せる公園があってもいい！
- ・公園のポテンシャルを柔軟な発想で引き出す！

ワークショップ、インクルーシブな広場、できる看板 等

（インクルーシブなこども広場の開設）

- ・第 6 次総合計画、第 3 次都市計画マスタープラン、緑の基本計画 で公園再整備を位置付け。
- ・インクルーシブこども広場を設置。『誰もが一緒に遊べる広場づくり』
- ・令和 2 年 7 月より中央図書館利用者、保育園、障害者団体等々にアンケート協議。
- ・樹木の撤去方針：優良木を残すために伐採・植樹を行う。
伐採には内部からも反響はあったが、方針に対して概ね賛同。
- ・市民プール→テニスコート 12 面を統廃合整備、利用率高い。（他に市営室内プールと水遊びできる公園が 7 か所あった。）
- ・更地にした後からの予算：1.5 億円。（設置基準を超えていると国の補助金は期待できない。）
- ・平成 28 年日立製作所、平成 30 年スズキ自動車撤退。令和 5 年 4 月イオンモールがオープン。近年の人口推移は微増。
- ・インクルーシブ遊具について、乳幼児用は、ゆれる、のぼるといった機能から選定。迷路は、死角ができることを嫌って不採用。（団体からの意見。）
- ・床のゴムチップ舗装は厚め。10 年もつといわれているが、メンテ費用が課題。
- ・整備状況については、SNS や広報で発信、中央図書館の利用者と相まって広めている。
- ・今後は飲食ニーズの把握が必要。キッチンカーで実証実験中。
- ・市役所、中央図書館、イオンモールと幹線道路に沿って集約された街づくりとなっている。

【行政視察を終えて】

静岡市歴史博物館では、オープンしたてでありコロナも終息に至って間がなく、来場者実績のほどは明確には推し量れないが、NHK 大河ドラマの効果、著名な建築事務所による設計とことにより現段階ではまずまずの来場者となっている。一過性のブームにもなり得る大河ドラマ効果後の展開が課題となるが、駅近隣の立地を活かし周遊ポイントの一つとしても組み込まれ、現代の“映える”スポットとしても活用を見込める。本市も建て替えの際には、建物そのものに誘客効果を期待できるような検討は必要な視点であると考えている。

豊川公園では、インクルーシブ遊具が目を引き、視察当日は平日であるので利用者は多くは無いが、子どもたちが楽しんでいる様子が見られた。全国の画一的な制度設計から一歩進み、地域住民が本当に希望するニーズに応えるべく、仕組み・体制を構築し、意見を反映させながら作られたことを学んだ。本市でも人口が減少する一方では、支援を要する子どもたちの増加、市内でも各区によりニーズは多様化している状況にあり、それに応えるべく従前の制度に捕らわれない整備がポイントであると考えている。



全景

※展示室内は撮影不可。



1階（戦国末期 道の遺構）



1階（導入の展示室）



インクルーシブ遊具



インクルーシブ遊具



インクルーシブ遊具

出張報告にかかる領収書等の整理番号その他必要事項を下欄に記載すること

10-6、10-7、10-8、10-9